

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—355—

2018.8.2

◎JJF で珊瑚セミナー

岩崎望さんより

ジャパンジュエリーフェア 2018 で宝石サンゴのセミナーが  
開催されることになりました。

開催決定が遅れ、JJF2018 のダイレクトメールには掲載が間に合いませんでした。

JJF2018 のホームページに案内があります。

<https://www.ubmjapan-group.com/jjf/seminar/>

テーマ：水産庁による宝石サンゴ漁場環境調査の概要及びワシントン条約（CITES）にお  
ける議論について

講師：水産庁増殖推進部漁場資源課課長補佐 松島博英 氏

日時： 8月28日（火） 14:30 から

場所： 東5ホール内 セミナー会場

主催：宝石の四季

内容：

現在、宝石サンゴは中国をはじめ人気素材となり、高値で流通しています。

宝石サンゴ資源の持続可能な利用のためには、科学的な情報に基づいて、

適切に資源管理等を行うことが重要です。

水産庁では、これまで宝石サンゴ漁場環境調査を実施してきました。

日本周辺の宝石サンゴの状況がどのようになっているのか、流通に携わる者も

知っておく必要があります。

今回は、その調査結果の概要とワシントン条約（CITES）における宝石サンゴを

含む水産資源の議論の状況について、最新情報を報告していただきます。

ルビーの産地識別のセミナーの後に行われますので、是非続けてご参加下さい。

セミナー参加のお申し込みは以下からお願いいたします。

<https://www.ubmjapan-group.com/jjf/seminar/>

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>